

FUTABA

2016年版 環境・社会報告書

ENVIRONMENTAL AND SOCIAL REPORT 2016

フタバ産業株式会社

特集

安全性と環境性を両立した
軽量高強度部品・
ホットスタンプラインの構築



この環境・社会報告書には、森林に配慮して適切に管理された森林認証用紙（FSC® 認証用紙）、有害な VOC（揮発性有機化合物）成分が含まれていない植物油インキ、印刷時に浸し水を使用せず同じく VOC を大幅に低減する水なし印刷が採用されております。

お問い合わせ先

総務部 CSR・環境課

〒444-8558 愛知県岡崎市橋目町字御茶屋1番地

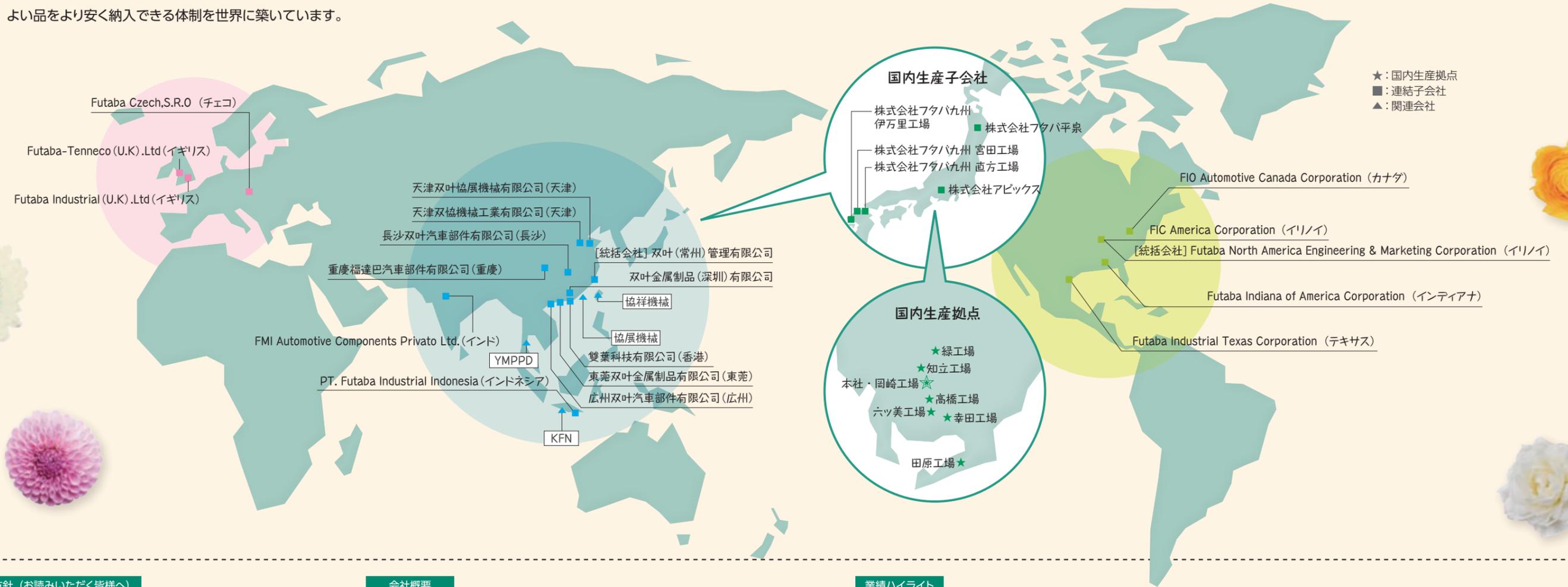
TEL : 0564-31-2211 FAX : 0564-31-2220

URL : <http://www.futabasangyo.com/>



フタバ産業の事業展開と編集方針

フタバ産業は国内拠点の充実とともに、海外では北米・欧州・東南アジア、そして中国と生産拠点を広げ、お客様の必要とする時に、求められる場所へ、よい品をより安く納入できる体制を世界に築いています。



編集方針 (お読みいただく皆様へ)

「環境・社会報告書」は、フタバ産業の環境・社会分野における一年間の活動結果と今後の計画を社会との関わりに焦点を置き、ご紹介する年次報告書です。読者の皆様との大切なコミュニケーションツールとして発行しております。ぜひアンケートをご利用いただき、ご意見、ご提案やご質問などをお寄せください。

参考ガイドライン
環境省「環境報告ガイドライン (2012年版)」、GRIガイドライン第4版

報告対象期間
2015年4月1日～2016年3月31日
※一部、対象期間外の取り組みも紹介しています。

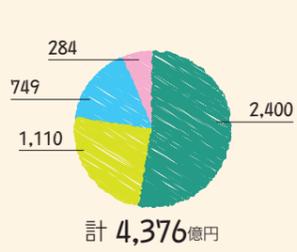
発行
2016年8月 (次回2017年8月予定)

報告対象範囲
フタバ産業株式会社
※環境報告データの対象範囲は、ISO14001を認証取得している国内7工場 (岡崎、緑、知立、幸田、六ツ美、高橋、田原) となります。
※一部、グループ会社の活動も紹介しています。

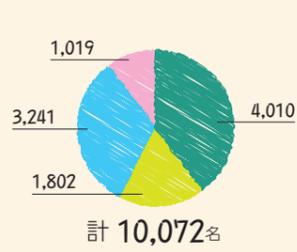
会社概要

名称	フタバ産業株式会社
本社	愛知県岡崎市橋目町字御茶屋1番地
創立	1945年11月1日
資本金	118億円
事業内容	自動車等車両部品、情報環境機器部品、治具溶接機等の製造および販売

地域別売上高(連結) (億円)
(2015年度)



地域別従業員数(連結) (名)
(2016年3月末時点)



業績ハイライト

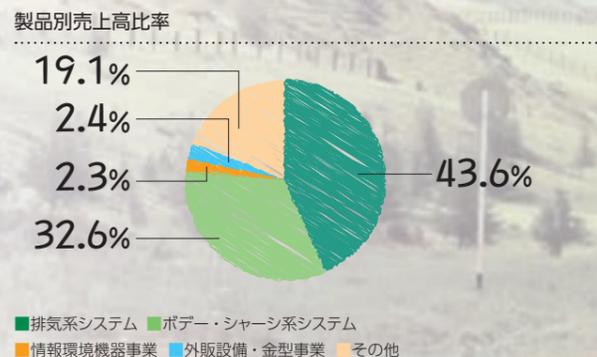


CONTENTS

フタバ産業の事業展開と編集方針	1	地球温暖化防止への取り組み	18
フタバ産業の事業フィールド	3	化学物質リスク低減	19
トップメッセージ	5	廃棄物削減と資源循環	20
特集 安全性と環境性を両立した軽量高強度部品・ホットスタンプラインの構築	7	水資源保護・生物多様性保全	20
経営理念・経営体制	9	工場・グループ会社の取り組み	21
フタバ産業の経営理念と戦略	9	社会性報告	21
コーポレート・ガバナンス	11	お客様との関わり	28
環境・社会活動への取り組み	13	株主・投資家との関わり	29
環境報告	15	仕先との関わり	30
環境マネジメント	15	従業員との関わり	31
環境対応製品の開発	17	地域社会との関わり	33

フタバ産業の事業フィールド

当社の排気系システムは、環境性能とエンジンの動力性能を高次元でバランス良く実現し、国内外のカーメーカーから高く評価されています。ボデー部品、足廻り部品などの分野においても、最先端の技術で、安全性、信頼性、コスト競争力に優れた製品を生み出しています。また、環境問題に対応すべく、未来を見据えた開発活動も積極的に行っています。



情報環境機器事業

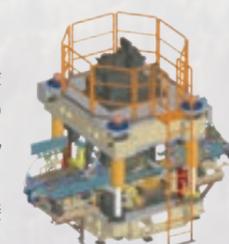
自動車部品製造で培った高度なプレス技術と精密な組立技術により、カラー複合機などの部品をモジュール単位で開発から生産まで行っています。また、近年では家庭用燃料電池の構成部品などの開発・生産も行っています。



トレイモジュール

外販設備・金型事業

自社設備のメンテナンス性と生産性向上のための新技術・新工法の蓄積が、当社第3の事業に発展しています。製造現場の声を反映し、得意先のニーズを先取りした溶接組立設備や金型をつくっています。



3次元CADによるヘミング装置とヘミング金型

自動車部品事業 排気系システム

エンジン性能向上と低騒音化に貢献

自動車の性能を大きく左右する部品です。消音、排出ガス浄化などの環境性能とエンジンの動力性能といった、相反する要求をバランスよく実現しています。また、燃費向上を目的とした排気熱回収システムや、ディーゼルエンジンの排出ガスに含まれる粒子状物質を除去するDPF*など、将来に向けた開発を積極的に行っています。

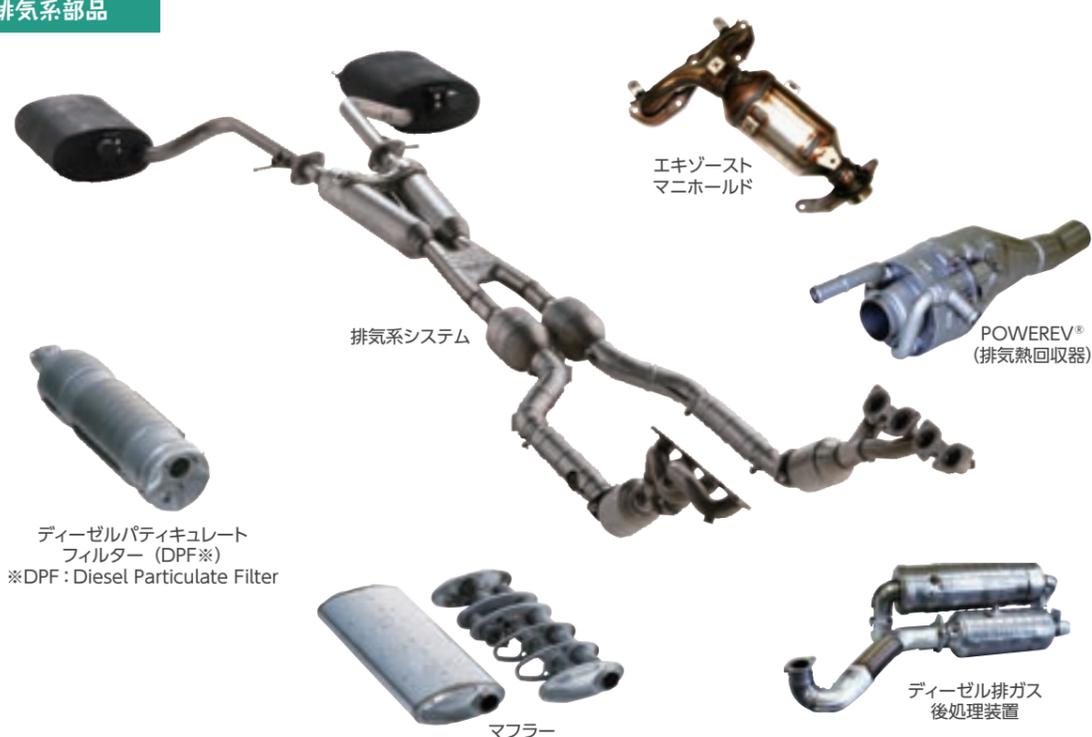
強み Strength

解析技術を駆使し、排出ガスによる熱の影響や低騒音化を向上させるための最適設計を行っています。

目指すべき方向性 Direction

この製品の性能が自動車全体の環境性能を左右します。さらなる、CO₂の削減を目標に研究開発を進めています。

排気系部品



自動車部品事業 ボデー・シャーシシステム

安全性向上と軽量化を両立

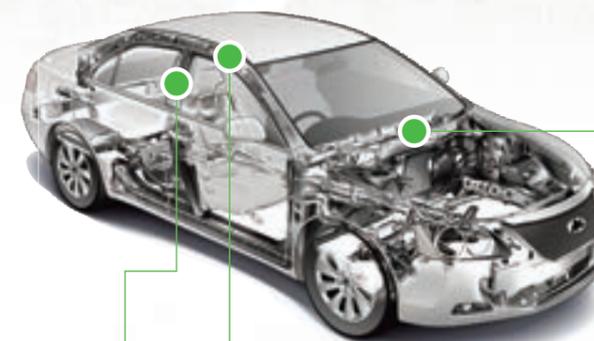
車の骨格を形成し、運転者や同乗者の身体を守る部品です。軽量化による燃費向上と安全性能を両立させるため、鉄鋼メーカーとの協業によるハイテン材（高張力鋼板）とその加工技術の開発や、レーザー溶接技術の開発・製品製造への適用を進めています。

強み Strength

鉄鋼メーカーとタイアップし超高張力鋼開発、高度な解析技術を通じた最適開発が強みです。

目指すべき方向性 Direction

環境性能と安全性能の両立、進化を目指した開発を進めています。



内外装部品



ボデー骨格部品



足廻り部品



燃料系部品



トップメッセージ

社会の課題と向き合いつつ、 挑戦と変革を恐れず、次なるステージへ。

この度、当社第9代取締役社長に就任した吉貴 寛良と申します。社会の課題と向き合いつつ、フタバ産業のポテンシャルを引き出し、新たな成長ステージを一步ずつ踏みしめて歩むべく、決意を新たにしています。

フタバ産業の新たな成長ステージへ

当社は2009年以降再建に向け、様々な取り組みを行ってきました。内部統制やコーポレートガバナンス等の基盤整備や生産体制整備、さらには人材育成に力を入れ、VISION2020や中期経営計画といった経営目標のもと、企業風土の改革を行ってきましたが、まだまだ課題は山積しています。

会社の存在意義は、事業活動を通じて利益を上げ社会に還元することです。しっかりと利益を上げてこそ、ステークホルダー、特に株主・投資家の皆様にも責任を果たせます。そうすることにより、結果として従業員・お客様・地域社会・取引先にも満足いただけることとなります。そのために、フタバ産業が本来持っている力を改めて確認し、安定的にしっかりと利益を上げられる会社を目指します。特に本年度中にトヨタ自動車様から100億円の増資を受けることになり、その結果その関連会社になります。これによりステークホルダーの期待もますます高まり、従来以上にマネジメント強化の必要性や応えるべき期待値が高まることになるものと考えています。

CSRの位置づけと課題の克服に向けて

当社グループは社是である「よい品、より安く」を原点に、経営理念、企業憲章、フタバ行動指針を従業員と共有し、体現することをグループのCSR経営と位置づけてきました。

なかでも「安全・品質」は、価値創造の根幹を成すもので、お客様満足度の向上を通じて社会になくてはならない会社を目指すための基本としています。ここ数年、品質上の課題を克服すべく全社活動を進めてまいりました。品質向上は収益性向上に直接つながりますので、安定的に品質が確保できる体制を構築していきたいと思えます。

また、ものづくり現場における災害撲滅を進め、災害0を目指して取り組んでいきます。人材の活用では、グローバル人事制度を整備し、女性、外国人、障がい者など多様な人材が活躍できる体制の整備を進めてきました。また、「学習し、成長する組織」を実現するため、一人ひとりが当事者意識をもちながら仕事の意味を理解し、能力を発揮できる環境を整えていこうとしています。また、2015年度の従業員による交通加害事故件数は、前年度比で25%増となっています。この状況を真摯に受け止め、啓発活動を強化し、事故0を目指してまいります。

フタバ産業のステークホルダー



お客様



株主・投資家



地域社会



仕入先



従業員

新5ヵ年計画の取り組み

「とり戻そう、フタバの力、きり拓こう、フタバの未来」のスローガンのもと、本年度から「フタバ産業 新5ヵ年計画（2016年度～2020年度）」がスタートしました。「安全、品質、ものづくりの基本の徹底」「安定した収益確保のための構造改革と原価マネジメントの強化」「コア技術の更なる進化と新規分野への活用」「人材育成と組織力の強化」に全力で取り組む決意です。

最大のテーマはマネジメントの改革です。製品分野別の組織の再編に着手し、各部門の構造改革を進めるとともに原価マネジメントを強化し、海外拠点においても統括会社による子会社のマネジメント強化を進めます。また、経営判断のスピード化を図るため、各本部内での決裁を重視し、責任と権限を明確にします。

「環境や安全」に寄与する製品開発は、勝ち残るための必須条件であり、今後は安全性はもとより、燃費、排ガス浄化、消音性能のニーズに応え、商品開発を加速していきます。

また、ハウス栽培農家に向けたCO₂の貯留・施用装置の販売など、自動車部品事業以外の新技術・新事業の取り組みも強化してまいります。

今後に向けた私の決意

フタバ産業は、自動車マフラーの最大手として、成長してまいりました。しかし、さらなる高みを目指すには、変化を恐れず、挑戦を続ける勇気と意志が必要です。

そして今後とも企業として存続する限り、社会の動きや課題を着実に捉え、社会的責任を果たすとともに、グループの共有財産であるコア技術を展開し、事業を通じた社会貢献を実現していかなければなりません。

現在フタバ産業は、国内で実現した最小スペースと最小投資を実現するホットスタンプによる生産のグローバル展開、さらに安全・安心の車づくりに欠かせない超ハイテン加工やアルミ加工などマルチマテリアル化への対応に積極的に取り組んでいます。そうした生産技術革新も含めた、「ものづくり」の土台としての“挑戦と

変革”こそがグループの未来を切り拓く原動力となります。

引き続き皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長

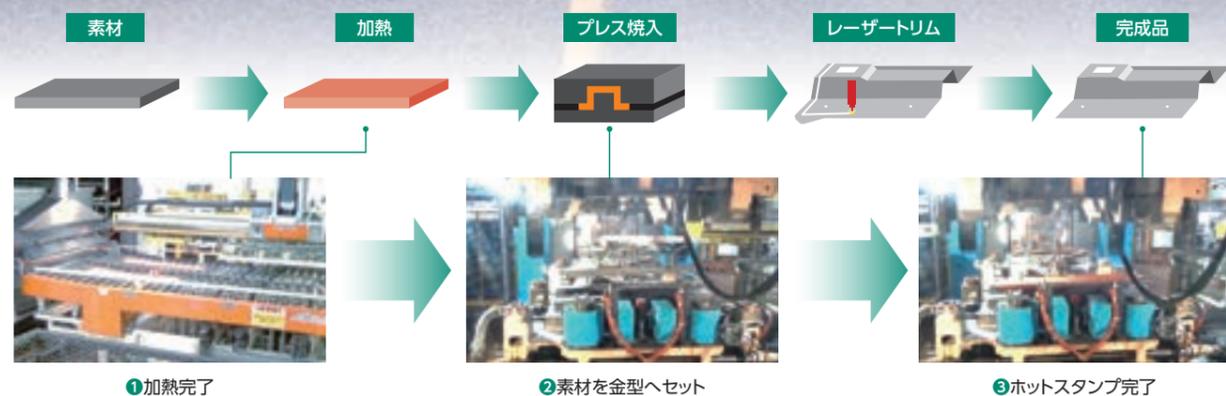
吉貴 寛良

安全性と環境性を両立した 軽量高強度部品・ホットスタンプラインの構築

自 動車の衝突安全性と燃費向上の相反する課題を克服するために、ボデー骨格部品の薄板化と高強度化が求められています。これらを実現するために、当社はホットスタンプラインを構築して軽くて強い自動車骨格部品の製造に取り組んでいます。

従来型のホットスタンプラインは、加熱炉が長く重厚長大なラインとなってしまうため、加熱炉をガス燃焼式から遠赤外線式にすることで加熱効率の向上と排ガスの発生を抑制しました。また、加熱条件を最適化することで炉長を短くコンパクトなラインを実現しました。当社は、本ラインを基本として国内、北米、中国へ展開して軽量高強度部品の供給体制を整える計画です。

ホットスタンプ工法の流れ



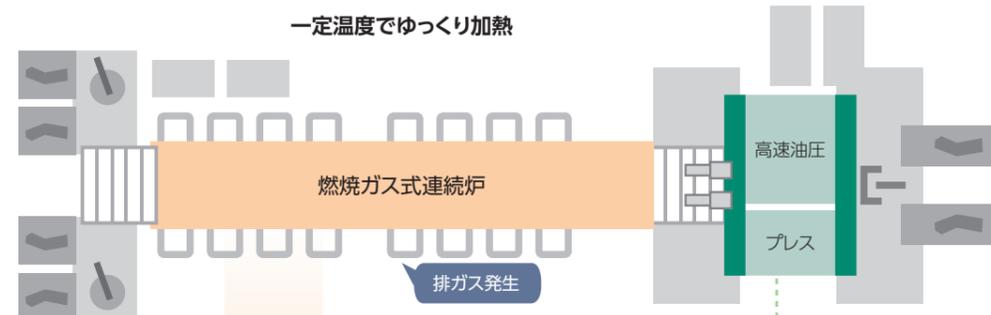
ホットスタンプ製品群



従来の部品より
強度向上、軽量化により
自動車の燃費改善

素材供給 → 加熱 → 素材投入 → ホットスタンプ → 素材搬出

従来のホットスタンプライン

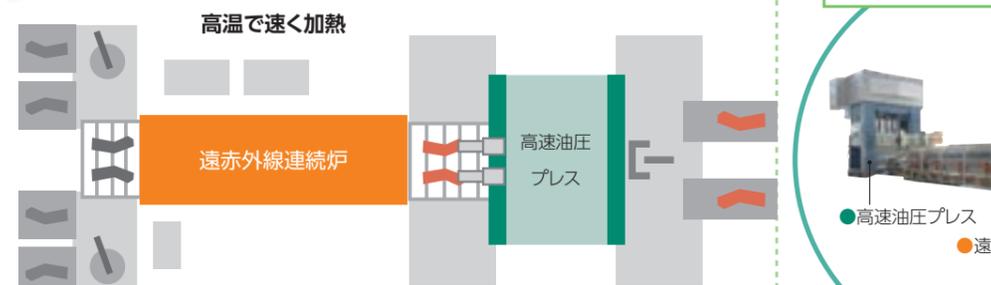


ラインをコンパクトに

従来のラインより
エネルギー使用効率向上
排出ガス削減

35%短縮

新しいホットスタンプライン



構築したホットスタンプライン



生技開発・生産技術担当者の声



ものづくり改革推進室 係長 宮島 和彦 (左)
生産技術本部 プレス生技部工程計画課 一般 江口 功 (中)
生産技術本部 生技開発部生技開発課 係長 神谷 佳寛 (右)

当社は、冷間加工が主流で熱間加工特有の温度管理に戸惑いました。また、ライン立ち上げ時に多くの品質課題や搬送トラブルが発生しましたが、開発、工機部門、生産工場の創意工夫で課題克服を行い、現在は順調に生産を行っています。開発初期からのベンチマーキングと地道な要素技術の積上げが実を結んだ結果だと感じています。これからグローバル展開が始まりますが、今回の立ち上げの経験とノウハウを生かして成功させたいと考えています。

フタバ産業の経営理念と戦略

ステークホルダーの皆様信頼される会社であり続けたいという思いを、「社是」「経営理念」に刻み、事業活動を行っています。

社是 …………… よい品、より安く

私たちは、

- 経営理念 ……………
1. お客様に信頼され、なくてはならない会社
 2. 共に働く仲間が、生きがいと誇りを持つ会社
 3. 地域社会から広く支持され、愛される会社

であるよう、たゆまぬ努力を続けます。

企業憲章

1. 法令および社会規範等の遵守 P12

私たちは、国内外の関係法令、社会規範、社内規程を遵守し、高い倫理観を持って企業活動を行い、社会的責任を果たします。

2. 社会への貢献 P15 P33

私たちは、国内外の文化・習慣を尊重し、環境保全に努め、地域とともに成長し、地域に喜ばれる企業となります。

3. 企業の存在意義 P28

私たちは、最先端技術の研究と開発に努め、製品・サービスをお客様に満足していただける品質・コストで、全世界に提供します。

4. よりよいコミュニケーションと企業風土の醸成 P31

私たちは、社内外、職位を問わず様々な人の意見を真摯に受け止め、自由な発想で、活発に意見を表明できる、明るく活力のある企業風土を作ります。

5. 従業員の尊重 P31

私たちは、従業員の人格、個性を尊重し、安全で働きやすい環境を確保するとともに、従業員のゆとりと豊かさの実現に努めます。

6. 適切な情報開示 P29

私たちは、企業情報を適切に開示し、企業の透明性と健全性を向上させます。

7. 社会との調和 P33

私たちは、良き企業市民として社会と調和し、社会秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力には断固対決します。

8. 取引先・関係会社等と共に成長・発展 P30

私たちは、常にグローバルな視野で革新的な経営を行い、取引先・関係会社等様々なステークホルダーと共に成長・発展に努力します。

フタバ行動指針

第1章 会社との関係におけるわたしたちの行動

1. 明るい健全な職場づくり
2. 資産保全と機密の管理

第2章 会社の活動におけるわたしたちの行動

3. 環境保護活動
4. 営業・調達活動
5. お客様から信頼されるモノづくり
6. 世界から信頼される企業を目指して

第3章 社会との関係におけるわたしたちの行動

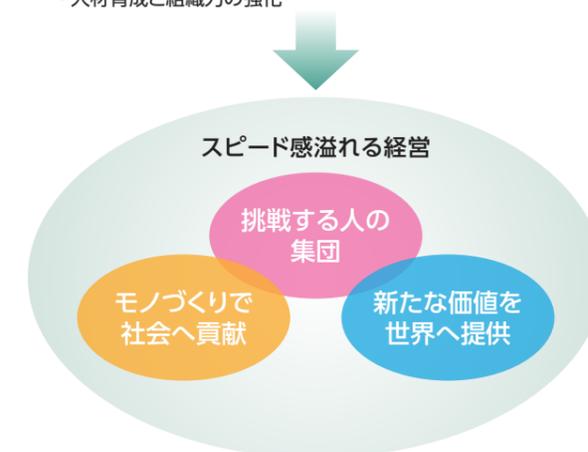
7. 社会とのオープンで公正なコミュニケーション
8. 社会から信頼される企業市民に
9. 健全な市民として
10. 思いやりのあるドライバーとして

2020年度の目指す姿

2020年度に向けて、当社の目指す姿は以下のとおりです。
国内市場の成熟化および新興国市場の成長性を考え、海外拠点を中国、東南アジアの新興国を中心に展開し、さらなる成長を目指してまいります。

また、当社のコア技術であるプレス・溶接技術を磨き、「環境」「省エネ」をキーワードに、自動車部品事業を中心に環境関連分野へ商品を拡大してまいります。こうした活動に対し、スピード感溢れる経営を行ってまいります。

- ・「安全、品質、ものづくり」の基本の徹底
- ・安定した収益確保のための構造改革と原価マネジメントの強化
- ・拠点最適化と経営資源の効率的な配分
- ・コア技術の更なる進化と新規分野への活用
- ・人材育成と組織力の強化



新5ヵ年計画(2016年度～2020年度)

事業環境の変化に合わせ、経営計画の見直しを行い、「新5ヵ年計画」を策定いたしました。当社はこの新5ヵ年計画を確実に実行し、新たな成長を目指します。

基本方針

新5ヵ年計画遂行に際しては、以下の5つを基本方針とし、持続的成長を実現するための体制構築を図ります。

1 「安全、品質、ものづくり」の基本の徹底

原点に立ち返り、安全、品質、ものづくりの基本を徹底し、社是である「よい品、より安く」を実践いたします。

2 安定した収益確保のための構造改革と原価マネジメントの強化

中長期的な収益力向上に向けた組織体制の改革と、原価企画・原価管理体制の強化をします。

3 拠点最適化と経営資源の効率的な配分

経営資源の効率的な活用に向けた国内外の生産拠点の最適化を行います。

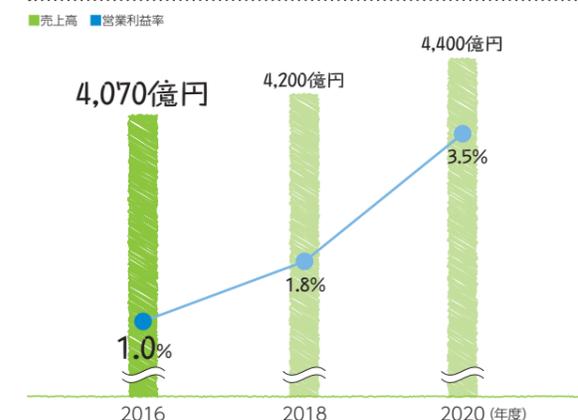
4 コア技術の更なる進化と新規分野への活用

更なるプレス技術・溶接技術の進化による他社を凌駕する魅力ある商品の開発と、新規分野への積極的な挑戦をしていきます。

5 人材育成と組織力の強化

将来のフタバ産業を担う人材育成に向けた機能別・職種別教育の更なる充実と、それを通じた組織力の強化を行います。

売上高と営業利益率の見通し(連結)





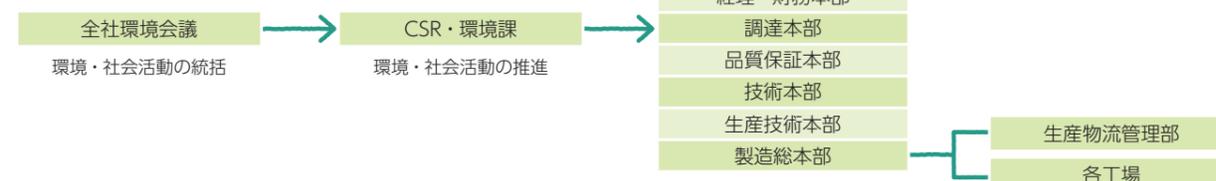
環境・社会活動への取り組み

全社環境会議のもと、事業活動における環境・社会活動の各項目に関する年度目標を立てて、継続的な改善に取り組んでいます。

環境マネジメント

年2回開催する全社環境会議では、社長を議長とし、当社における環境活動および社会活動推進の取りまとめを行っております。本年度は、『事業活動を通じた社会貢献による会社の持続的成長と競争力の向上』を会社方針に掲げ、地域社会とともに、企業の持続的発展を目指して取り組んでまいります。

●全社環境会議推進体制



2015年度の結果と2016年度の目標

全社環境会議により、環境活動と社会活動を推進しています。

☀️ … 達成 ☁️ … 一部達成

項目	主管部署	関連ページ	2015年度			2016年度	
			目標	実績 (取り組み・活動)	結果	目標	
環境活動	環境経営	総務・人事本部 (CSR・環境課)	P.15 P.16	各組織で活動を充実・レベルアップさせる (国内子会社を含む) 環境法令の遵守	全社環境会議で活動状況をフォロー 環境マネジメントシステムの認証継続 環境関連法令の自主基準での管理を実施	☀️ ☀️	各組織で活動を充実・レベルアップさせる (国内子会社を含む) 環境法令の遵守
	環境配慮製品	技術本部 生産技術本部	P.17	環境対応製品の開発 (更なる小型化、軽量化、高効率化)	空力を追求した超偏平面マフラーの開発完了 環境保護規制に対応した低コストキャニスターの開発完了	☀️	環境対応製品の開発 (更なる小型化・軽量化・高効率化)
	地球温暖化防止	製造総本部 生産・物流管理部	P.18	本来業務でのCO ₂ 排出量 2013年度実績の 2% 削減	変電所変圧器および空調機の更新、リフトのバッテリー化、A重油を燃料とした自家発電機の稼働停止により2013年度比 11.5% 削減	☀️	本来業務でのCO ₂ 排出量 2013年度実績の 12.5% 削減
				エネルギー管理の推進	コンプレッサーの稼働制御、空調機の運転管理 待機電力OFF、エア漏れ修正の推進	☀️	エネルギー管理の推進
	化学物質リスク低減	製造総本部	P.19	化学物質の使用・排出・移動の量を把握する	化学物質管理システムの活用により対象物質の使用・排出・移動の量を把握	☀️	化学物質の使用・排出・移動の量を把握する
	廃棄物削減と資源循環	製造総本部	P.20	廃棄物排出量 2013年度実績の 18% 削減	廃棄物の有価物化の推進により2013年度比 27.2% 削減	☀️	廃棄物排出量 2013年度実績の 30.1% 削減 (前年度比 4% 削減)
廃棄物の排出量と処理状況を把握する				廃棄物管理システム活用、現地調査の実施により廃棄物の排出量と処理状況を把握	☀️	廃棄物の排出量と処理状況を把握する	
社会活動	お客様	品質保証本部 営業本部	P.28	お客様からの信頼を得る	品質向上活動 「品質機能会議」「QA点検」「品質改善活動報告会」の実施	☁️	お客様からの信頼を得る ISO/TS16949認証取得
	株主・投資家	経営企画室 広報室	P.29	株主・投資家からの信頼を得る	適時、正確かつ適正な情報を提供	☀️	株主・投資家からの信頼を得る
	仕入先	調達本部	P.30	仕入先との連携強化、相互繁栄を目指す	仕入先コミュニケーションルームの活用 期待値活動の展開による共に成長するパートナーシップの醸成	☀️	仕入先との連携強化、相互繁栄を目指す
	従業員	安全衛生管理室 人事部	P.31 P.32	安全で働きやすい職場をつくり、ゆとりと豊かさを実現する	28 (フタバ) 対話活動、安全心得ハンドブックの社内展開 能力開発教育の実施、育児支援制度の充実、障がい者雇用の拡充	☀️	安全で働きやすい職場をつくり、ゆとりと豊かさを実現する
	地域社会	総務・人事本部	P.33 P.34	地域社会からの信頼を得る	積極的な社会貢献の推進 (交通安全立哨活動、ボランティア清掃活動への参加) フタバ産業旗争奪少年野球大会の開催 森づくり活動の実施 岩手県平泉町へのふるさと応援寄附金の納付 (2015年12月終了) エコキャップ活動への参加 わくわく省エネ体験教室への展示	☀️	地域社会からの信頼を得る

環境マネジメント

環境経営を事業活動の重要基盤の一つと定め、社員の環境意識の向上に努め、継続的改善に取り組んでいます。

担当役員のメッセージ



トップマネジメント
岩月 幹雄

全工場が統一されたEMSによるマネジメントと、従業員一人ひとりの意識・行動で、より高いレベルの環境経営を目指します。

私たちは、環境保全を事業活動における重要課題と認識し、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001にもとづく環境経営を行っています。7つの工場が、統一された環境マネジメントシステムのもとで、共通のマネジメントを行うことにより、環境経営レベルの全社均一的な向上、PDCAのスパイラルアップによる継続的な仕組みの改善に取り組んでいます。特に環境関連法令の遵守につきましては、最も大切なこととしてとらえ、自らより厳しい基準値を設けて逸脱しないための監視管理を行うとともに、緊急事態に備えた対応訓練を定期的実施しています。また私たちの本業であるモノづくり工程における省エネルギーの推進、CO₂排出量の削減については積極的、計画的に取り組む、持続可能な社会の実現に貢献して行きたいと考えています。私たちは、良い品、より安く、より環境に優しくを合言葉に、地域の皆様とのコミュニケーションを大切に、全社一丸となって環境改善活動に取り組んでまいります。

環境方針(抜粋)

環境理念 2010年11月1日改訂

7工場（自動車部品の生産、情報環境機器部品の生産、外販用設備・金型の製作）は、環境保全を地球規模の重要課題との認識に基づき、環境経営を事業活動の根幹にして地球環境の保全に積極的に寄与する。このため、環境マネジメントシステムを事業活動の重要基盤の一つと定め、事業活動により環境に影響を与える項目に関して継続的改善を実施し、地域社会との調和を図る。

環境マネジメントシステム

公害防止、廃棄物、省エネ、資源保護の4つの分科会を主体として、全工場横断的な改善活動に取り組んでおります。その成果として、各工場の環境が高いレベルを維持できるようになってまいりました。今後も環境マネジメントシステムを活用し、継続的な改善に取り組み、更なる向上に努めてまいります。

環境関連法規制遵守状況

ISO14001の活動の一環で、公害防止分科会が主体となり、条例よりも厳しい自主基準値を設け、遵守状況を定期的に確認しております。工場排水の水質基準に関しては、工場内の浄化槽や排水系統の管理体制を整備し、水質悪化傾向を把握することで、基準値逸脱の未然防止を図って

環境教育

内部監査員の教育に関しては、社外講師を招き、より実践的な内容を盛り込むことで、内部監査のレベルアップを図っております。また、新入社員や新職制に対する階層別の教育は、社内ですべて行われております。

おります。また騒音と振動に関しては、リフトが屋外を走行する時の音に注意を払い、路面の悪化やグレーチングのゆるみ等の早期補修に努めております。2015年度は規制値の逸脱はありませんでした。

環境苦情と対応状況

法令や協定の基準値を遵守することだけで満足せず、近隣にお住まいの皆様の生活に配慮し、レベルアップに取り組んでおります。

2015年5月に六ツ美工場において、夜間における型ラック作動時のアラーム音に対して、騒音苦情を受けました。アラーム音の設定レベルを下げるのと同時に、各工場にも当事例を横展開し、屋外に設置する設備のアラーム音に関する注意を喚起し再発防止を図りました。また、2015年9月に幸田工場においては、夜間に工場前の県道を走るトラックの走行音に対する騒音苦情をいただきました。夜間走行時の注意に関するワンポイントレッスンを作成し、運送会社へ配布し運転手への周知をお願いいたしました。

事業活動における投入資源と排出物

事業活動に必要なエネルギー等の投入量およびCO₂や廃棄物の排出量の全容を把握し、環境負荷物質の削減に取り組んでいます。



環境対応製品の開発



持続可能な（サステナブル）社会のため環境変化やニーズを先取りした環境対応製品開発に取り組んでいます。

開発方針

1. 排気系製品は排気騒音の低減、排出ガスのクリーン化に加え燃費向上に寄与できる技術開発を推進します。
2. ボデー・シャーシ製品は安全性、機能向上に加え燃費向上に寄与できる軽量化を推進します。
3. 省エネルギー、CO₂排出量削減を達成する為に、排気熱回収器（POWEREV®）や家庭用燃料電池部品などヒートマネジメントシステムの開発を推進します。

環境配慮製品・貢献製品紹介(新製品紹介)

空力を追求した超偏平断面マフラー

近年、自動車の低燃費化が急速に進んでいます。その中で、空力性能も燃費貢献に重要になっています。従来、マフラーは消音性能確保のため容量を大きく取っていましたが、消音性能を確保しつつ車体下部の空力性能を向上させるため、断面形状を超偏平断面としたマフラーを開発しました。

▼この超偏平断面マフラーが、ハイブリッド車のプリウスに採用され世界トップレベルの低燃費に貢献しています。



開発担当者の声

技術本部 排気系開発部排気管設計1課
須藤 雅行

この超偏平断面マフラーを開発するにあたり、製造面をはじめいろいろな課題がありました。しかし、“もっといいクルマづくりに貢献しよう”を合言葉にものづくり改革を進め、課題を解決できました。今後も、燃費、省エネ、省資源活動に貢献する製品開発にチャレンジしていきます。



▲北米LEVⅢ規制対応
キャニスター

環境保護規制に対応した低コストキャニスター

キャニスターは給油時、駐車時のガソリンタンク内で発生するガソリン蒸気を内部の活性炭に吸着させ、有害成分の車外放出を抑える役割を持つ環境貢献製品です。近年、自動車からの蒸発ガソリン排出規制が各国で強化される中、キャニスターにも高い性能が求められています。当社の取組としては、各種活性炭の吸着特性とガス流れの固有技術を活かした効率的な構造開発を進め、高性能かつ低コストな製品を実現しています。

開発担当者の声

技術本部 車両機能開発部 燃料部品開発課

細井 雅仁 (左) 岩本 光司 (右)

世界でも最も厳しい米国のガソリン蒸気排出規制に適合し、お客様にも喜んで頂ける低コストな製品を目標に開発を進めています。キャニスター内のガソリン蒸気の流れは目に見えず、仮説と検証を何度も繰り返す事もありますが、設計、評価が一丸となり要求をしっかりと満たす取り組みが出来ています。今後も、自分達の開発品を通して、地球環境に貢献していきます。



地球温暖化防止への取り組み

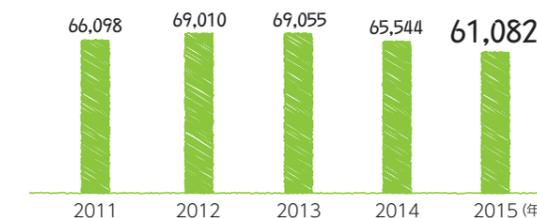


省エネ法を遵守し、工場の設備や物流における省エネ活動に積極的に取り組み、地球温暖化防止に努めます。

CO₂排出量の削減

2015年度は、計画的投資による変電所変圧器の更新、空調機の更新および天井照明のLED化を進めました。併せて、冷却水ポンプ制御およびコンプレッサー稼働制御等の運用改善、A重油を燃料とした自家発電機の稼働時間短縮を実施した結果、2014年度に比べて6.8%削減できました。

CO₂排出量 (t-CO₂)



省エネ分科会

当社の環境マネジメントシステムにおいて、省エネ活動の推進を担っております。目標達成計画に対し、毎月進捗状況を確認することで、計画遅滞した場合のリカバリーが、迅速に行なえる体制になっています。

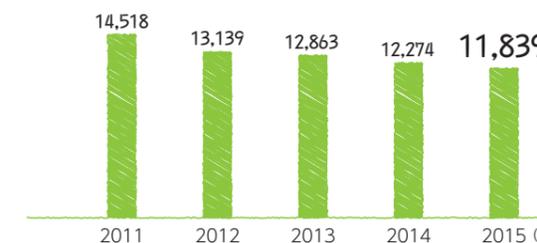
当分科会では、各工場毎のエネルギー使用実績を把握し、省エネ法の定める年1%以上のエネルギー原単位の削減に取り組んでいます。

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	66,098	69,010	69,055	65,544	61,082
削減目標 (%)	—	—	基準年	-2	-4

物流におけるCO₂排出量の削減

以前より継続して取り組んできた生産移管による長距離輸送の削減に加えて、荷姿の改善による積載効率の向上、および生産負荷減少に伴う輸送量の減少もあり、物流におけるCO₂排出量は前年比で3.5%削減となりました。

物流CO₂排出量 (t-CO₂)



	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
物流CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	14,518	13,139	12,863	12,274	11,839
削減目標 (%)	—	—	基準年	-1	-2

化学物質リスク低減

化学物質に関する各種規制に対応し、人の健康や生態系に有害となるおそれのある化学物質の使用量、移動量、排出量を管理しております。

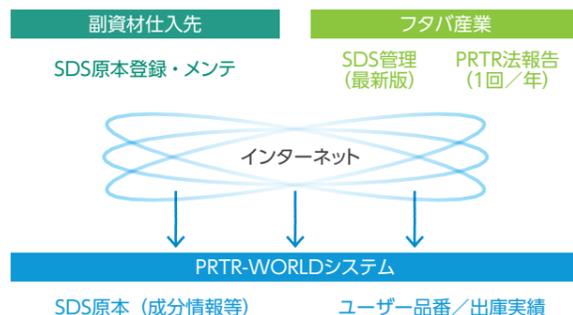
化学物質管理体制

対象物質の使用量・移動量・排出量は、エコ・リサーチ社の化学物質管理システム（PRTR-WORLD）を活用し、副資材（燃料・塗料・接着剤など）の購入量より算出しております。

PRTRとは…

Pollutant Release and Transfer Register（化学物質排出移動量届出制度）の略で、有害性が疑われる化学物質の排出量や移動量を把握し、届け出る制度。

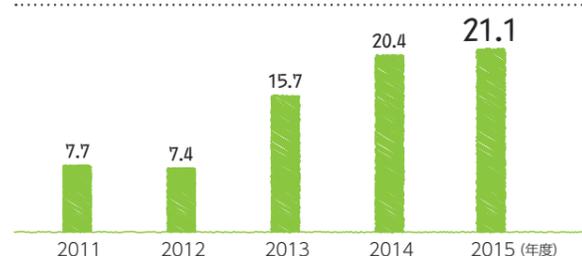
●化学物質管理システムの仕組み



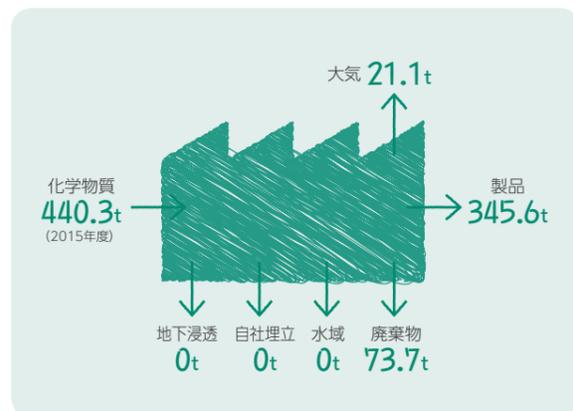
化学物質削減の取り組み

化学物質使用量は全体で燃料関連の使用量を抑えて昨年度の529tから440tへ17%削減しましたが品質向上の取り組みとして工場床面、パレット、治具の再塗装を行ったことにより塗装関連の使用量が増えたためその結果PRTR対象物質の排出量が3.4%増えました。

PRTR対象物質排出量 (t)



●PRTR対象物質の排出・移動量



VOC (揮発性有機化合物) 排出量削減

燃料関連の使用量を抑えましたが塗料関連の使用量が増えたため、0.5%の微増となりました。

VOCとは…

Volatile Organic Compounds（揮発性有機化合物）の略で、光化学オキシダントなどを引き起こし健康被害の原因となる有害物質。

VOC排出量 (t)



廃棄物削減と資源循環

限りある資源を有効に活用するために、環境マネジメントシステムの分科会（資源保護、廃棄物）を主体として、3R（Reduce, Reuse, Recycle）に取り組んでいます。

産業廃棄物排出量削減

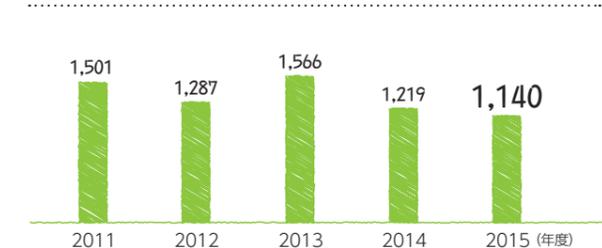
当社は、廃棄物排出量の削減と埋立廃棄物を削減する取り組みを推進しています。廃油やプラスチック、汚泥などの再資源化を進めています。



←リサイクルされる当社の廃棄物

2015年度は削減目標を高く設定し全社で取り組みました。また廃棄物の有価物化の推進により昨年度に比べ産業廃棄物排出量は6%減少しました。

廃棄物排出量 (t)



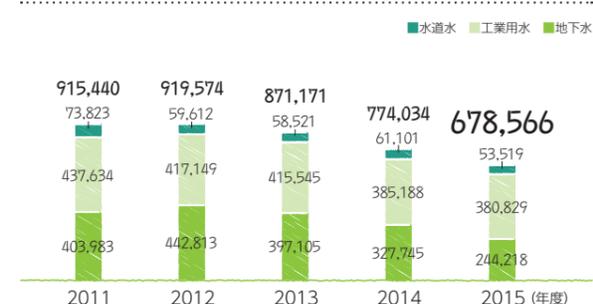
水資源保護・生物多様性保全

あらゆる生物の源である水資源の保護と、地元の人工林を本来の生態系に近づける生物多様性の保全に取り組んでいます。

水資源保護

当社では、設備の冷却、製品の洗浄や気密性検査等で工業用水と地下水を使用しておりますが、各所に循環システムを構築し水資源の再利用に努めています。これら工場からの排水については、油水分離槽で油分を除去した後、公共水域へ放流しております。また生活排水については、法規制よりも厳しい自主基準値を設けて常時管理し、敷地内の浄化槽・排水処理施設での処理を経て公共水域へ放流しております。

水使用量 (t)



生物多様性保全の取り組み

当社は、2011年より岡崎市の市有林を借用し『森づくり活動』に取り組んでいます。2015年度の活動のトピックスとしては、6月の実作業において現地で集めた落葉を使った『堆肥づくり』に挑戦しました。また子育て中の家族向けのイベントとして、7月には『カブトムシ捕り』、11月の『木工工作教室』ではクリスマスリース作りを楽しんでもらいました。その中で、『なぜ木を切ることが森づくりになるの?』という素朴な疑問に対して、オリジナルの資料を使い、子供たちにもわかりやすく説明しました。これらの取り組みは、愛知県のHPで子育て支援に取り組む企業として紹介されました。



▲カブトムシ捕りの様子



▲堆肥づくりの様子

工場・グループ会社の取り組み

当社の工場では環境の保全が、最重要課題の一つであることを認識し、事業活動のあらゆる面でその維持に配慮した活動を行っています。また地域社会との積極的なコミュニケーションをはかり、地域と密着した環境保護活動、社会活動に取り組み地域の皆様に貢献しています。

工場の取り組み



岡崎工場



住所：愛知県岡崎市橋目町 字御茶屋1番地
敷地面積：49,641m²
建物面積：32,344m²
生産品目：カウル、インストルメントパネル、サイドフレーム、センターピラー



工場長 露口 健二

岡崎市橋目町に本社・岡崎工場が移転してきてからは今年50年の節目に当たります。当工場では「地域に貢献する企業」を工場方針に掲げ、交通安全、地域清掃ボランティアなどの活動を積極的に企画実施するとともに、自主的に参加する人づくりに取り組んでいます。また、工場内・外照明のLED化を進め、CO₂削減による環境貢献はもとより、明るい職場環境

による社員の心の健康づくりや、明るい街灯設置による安全・安心な街づくりに取り組んでいます。月1回開催の環境委員会では、工場内の環境関連施設について、それぞれの管理担当者が月替わりで写真を交えて管理の状態などを報告し、地域環境への配慮を再確認しております。

環境活動・社会貢献活動

- 昨年は愛知県が募集した地域連携交通安全モデル事業に応募し、地域総代会、愛知県県民生活安全課、岡崎市安心安全課、岡崎警察署交通課との連携で、当工場の立地する北野学区の高齢者向けに交通安全講習会を開催しました。交通課長の講話に始まり、自動車、自転車、歩行の各シミュレーターを体験し、お年寄りにとって気づきの多い催しとなったようです。自動車に関わる企業として、「地元から悲惨な交通事故を無くしたい」との思いで、今後も実施していきます。
- 当工場の駐車場は新旧の平針街道に面しており、照明敷設に際しては、歩行者や自転車が夜間も安心して通行できるよう、できるだけ歩道が明るく感じられるよう配慮して設置しました。また、工場北東角の植栽が見通しを悪くしていたため、樹木を伐採し花壇を配することで、交通事故リスクの小さい、防犯レベルの高い地域づくりに貢献しております。



▲交通安全講習会



▲花壇の設置



▲歩行シミュレーター体験

環境負荷情報

電気使用量	9,262 千kWh	水資源投入量	129,534 t	化学物質大気排出量	1.075 t
ガス使用量	242 千m ³	CO ₂ 排出量	5,043 t-CO ₂	廃棄物排出量	50.6 t



緑工場

住所：愛知県豊田市緑ヶ丘 6丁目1番地
敷地面積：47,651m²
建物面積：40,089m²
生産品目：サスペンションメンバー、リアアクスルビーム、フュエルインレットパイプ、インパネリインホース、エキゾーストマニホールド



工場長 白井 康能

当工場では、主な生産品目としては、自動車部品のサスペンション、フュエルインレットパイプ、インストルメントパネルなどを、プレス→組立→塗装→亜鉛メッキ→出荷までの一貫した生産を行っています。

社内自主研活動を展開し、本来業務である生産性の向上、工程内廃却の削減、物流ロス低減などの効果を出し、エネルギーの低減及びCO₂削減に努めてまいりました。全員が、環境を意識した生産活動を行っています。

環境活動・社会貢献活動

- フォークリフトをガソリンからバッテリーリフトへの変更。5台実施することで、ガソリン4,750L/月の使用量の削減し、CO₂排出量10.62tCO₂/月削減できました。
- 薬品タンク（硫酸バンド・苛性ソーダ）鉄製より樹脂製のタンクに更新し、タンクからの漏えいリスクを低減しました。また、防液堤内面の更新（FRP仕上げ）を行い、さらに環境リスクを低減しました。
- 工場排水を使用したメダカの飼育を行い、水質の確かさを監視しています。メダカが孵化を繰り返し、子メダカも元氣よく泳いでいます。



▲飼育中のメダカ



▲防液堤内面も更新した樹脂製タンク

環境負荷情報

電気使用量	19,559 千kWh	水資源投入量	168,413 t	化学物質大気排出量	1.614 t
ガス使用量	2,929 千m ³	CO ₂ 排出量	12,094 t-CO ₂	廃棄物排出量	460.6 t



知立工場

住所：愛知県知立市逢妻町 道瀬山110
敷地面積：35,742m²
建物面積：19,381m²
生産品目：マフラー、フェンダーシールド、カウル



工場長 白井 康能

愛知県知立市にある当事業所は、主に自動車用ボデー部品を生産しております。2015年度は、お客様の増産に伴う生産変動に対し、いかに効率良く製品を製造し、供給できるかを、みんなで知恵を絞って改善活動を行いました。効率的な生産は、設備の稼働時間を短くし、消費電力を削減するだけで

はなく、総労働時間の削減により、従業員それぞれのワークライフバランスの実現にも寄与すると考えております。私たちは本年度も、働きやすく、かつ働き甲斐のある会社を目指すとともに、地域のみならず愛される会社になれるよう一層努力してまいります。

工場・グループ会社の取り組み

知立工場 ▶ 環境活動・社会貢献活動

- 昨年より、工場の所在する逢妻町の夏祭りに、フランクフルトの屋台を出させて頂き、若手の従業員を中心に揃いのハッピを着て参加しました。予想以上に好評頂き、元気な子供たちの笑顔が印象的でした。日ごろは地域住民のみなさんと直接顔を合わせる機会が少ないことから、ぜひこれからも恒例行事として協力させて頂きたいと思っています。
- 毎月ゼロの日の朝には交通安全立哨や、工場周辺の清掃活動を行っており、6月の知立市クリーンサンデーにも参加しています。



▲フランクフルトの屋台



▲交通安全立哨



▲工場周辺の清掃活動

環境負荷情報

電気使用量	6,297 千kWh	水資源投入量	50,010 t	化学物質大気排出量	0.133 t
ガス使用量	39 千m ³	CO ₂ 排出量	3,248 t-CO ₂	廃棄物排出量	21.9 t

幸田工場

住所：愛知県額田郡幸田町大字長嶺字柳沢1-1
敷地面積：236,742m²
建物面積：103,309m²

生產品目：マフラー、エキゾーストマニホールド等排気系システム



工場長 川淵 建夫

当工場は、敷地内に研究開発部門も併設するフタバ産業最大の事業所です。開発部門と製造部門が同じ事業所にあることで、製造工程での課題が迅速に開発部門へフィードバックされます。2016年度からは、高橋工場から排気系部品の設備部門が移管され、開発部門、製造部門、設備部門の三位

一体でより良い製品づくりを行う体制がスタートしました。また、当工場は、地域住民の皆様との繋がりを大切にしています。工場見学や各種イベントを通じて、愛される工場であるよう努力しています。

環境活動・社会貢献活動

- 当工場では、隣接する当社グラウンドを活用し、地域住民の皆様を招待して、グラウンドゴルフ・BBQ大会を毎年開催しています。このイベントには、毎回100名ほどの皆様にご参加いただいています。グラウンドゴルフ大会では、優勝を目指す本格派の方から、お父さんと一緒に参加する子供まで、幅広く楽しんでいただいています。また、競技後におこなうBBQでも、川淵工場長をはじめとする当社従業員がご一緒させていただくことで、皆様からの幅広いご意見を頂戴する機会となっています。
 - 主力工場として、工場見学も積極的に受け入れています。お客様や行政機関等へのPR活動や近隣小学校の社会見学、大学生の企業研究など、社外に向けてフタバ産業の魅力を発信しています。さらに、工場内に併設する「ものづくり研修センター」の安全体感施設で危険な状況を体感していただいています。安全が確保された中で、危険に対する感性を高めることができるため、多くの方からご好評をいただいています。
- 今後とも、これらの活動を通して、お客様や地域住民など、多くのステークホルダーの皆様から愛される工場であり続けたいと思います。



▲グラウンドゴルフ大会



▲工場見学

環境負荷情報

電気使用量	33,843 千kWh	水資源投入量	96,564 t	化学物質大気排出量	13.710 t
ガス使用量	15 千m ³	CO ₂ 排出量	20,243 t-CO ₂	廃棄物排出量	280.9 t

六ツ美工場

住所：愛知県岡崎市在家町字向前田38番地
敷地面積：78,018m²
建物面積：48,525m²

生產品目：事務機・情報環境機器
排気熱回収器、燃料電池関連部品
自動車部品
ボデー部品、シャーシ部品



工場長 金本 傳夫

当工場は、自動車ボデー部品及び情報環境関連部品を生産しております。ボデー部品では超ハイテン材の加工による車体重量の軽量化、環境関連部品ではエネファーム等の基幹部品の生産を通して、環境・省エネに貢献しております。昨年度からホットスタンプライン（加熱した鋼板を成形後に急冷する工法）が2ライン本格的に稼働を開始しております。

このホットスタンプラインは、強度向上と相反する車体軽量化の実現に向けてチャレンジを続けておりましたラインです。また、生産ラインへの省エネ設備の導入や生産納入プロセスの改善をはかり、環境に優しいものづくりで地球温暖化防止に努めるとともに、環境保護活動に取り組んでまいります。

環境活動・社会貢献活動

- 地域社会への貢献を大切に考え、地域の小学生・中学生の通学路の安全確保の為、車両通行の多い工場東西の交差点横断歩道にて交通安全立哨を行っております。ゼロの日及び交通安全県民運動中は毎日実施し交通事故防止に努めております。また、地域の模範となるドライバーとなるよう社員への交通安全教育として、新入社員から中堅社員を対象とした交通安全DVD教育、岡崎警察署交通課の方による講話等により通勤時等の交通事故防止に努めております。
- CO₂削減に直結する省エネ活動について、2016年度は2013年度比3%削減（毎年1%削減）を目標とし、改善アイテムを立案し実施しております。主な改善アイテムとしては、生産ラインのシンプル化（ロボットを必要最小限にしたスリムでコンパクトなライン）によりロボットの待機電力削減、インバーター化による最適条件での設備稼働、高効率変圧器への更新、空調の温度・時間管理の徹底です。また、省エネパトロールを毎月実施しており、省エネ意識の向上に努めております。



▲工場周辺の美化活動



▲省エネパトロール



▲交通安全立哨

環境負荷情報

電気使用量	16,242 千kWh	水資源投入量	108,180 t	化学物質大気排出量	0.638 t
ガス使用量	3 千m ³	CO ₂ 排出量	9,189 t-CO ₂	廃棄物排出量	181.7 t

工場・グループ会社の取り組み



高橋工場

住所：愛知県岡崎市高橋町字 一三三 24番地
敷地面積：29,962m²
建物面積：17,343m²
生産品目：金型、溶接組付設備製作
およびファインプランキング生産



工場長
山田 義人

当工場は、生産技術本部として、プレス金型・溶接設備を生産工場に供給する重要な役割を担っております。「シンプル・スリム・コンパクト」を合言葉に、金型においては、製品の大きさに対する金型サイズを極限まで近づけ使用する鋼材の削減、また溶接設備においては、構成部品であるシリン

ダー、バルブ等の削減、ダウンサイジングを推進し、消費電力の削減に努めています。今年度も引き続き、「環境にやさしい金型・設備づくり」に邁進していきます。

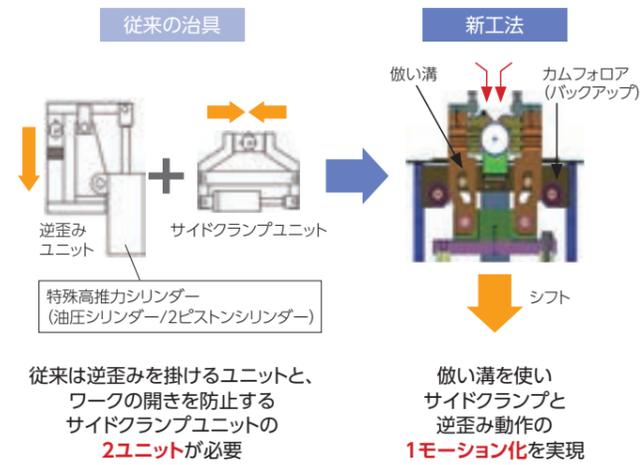
環境活動・社会貢献活動

●“シンプル・スリム・コンパクト”な型・設備づくり(代表事例)

からくり機構やリンク機構を有効に活用し、設備・治具ユニットを共用化することにより、動力レス化、低動力化、制作個数の低減を図りCO₂削減に寄与します。

- ①油圧ユニット⇒エアードライシリンダー化によるスペックダウン
- ②回転テーブルロボット外部軸モーター⇒ブレーキ付エアードライシリンダー駆動に構造変更
- ③油圧プレス⇒モーター&ボールネジで簡易リンクプレス化
- ④からくり機構活用によるシリンダーの削減
- ⑤治具ユニット共用化による製作治具面数の削減
- ⑥リンク機構活用によるエアードライ化(油圧廃止)

リンク機構によるユニット削減



〈参考〉年間削減量 1,839 t-CO₂削減

環境負荷情報

電気使用量	2,755 千kWh	水資源投入量	16,782 t	化学物質大気排出量	0.470 t
ガス使用量	2 千m ³	CO ₂ 排出量	1,695 t-CO ₂	廃棄物排出量	66.3 t



田原工場

住所：愛知県田原市緑が浜 1号5番
敷地面積：102,461m²
建物面積：56,725m²
生産品目：マフラー、エキゾーストマニホールド等排気系システム、カウル、リアアクスルハウジング



工場長
尾崎 和光

当工場では、自動車用排気系部品、ボデー部品、足廻り部品等を生産しています。海に面している事もあり環境汚染には特に気をつけています。排水処理は、自主基準値を設定し検査頻度を上げる等の管理を強化して汚染防止に努めています。省エネ活動は、工場の明り取り更新、LED照明の導入等

省エネ設備への投資を行うと共に節電、エアードライ防止などの地道な活動にも力を注いでいます。従業員一人ひとりが知恵を出し、協力し合いながら環境負荷低減に取り組んでいます。

環境活動・社会貢献活動

●省エネ活動としては、空調機のタイマー制御、1号棟の明り取り更新、バッテリー式リフト(2台)の導入、20t及び5tクレーンのインバータ化等によりCO₂排出量を98.97tCO₂/月削減しました。また、昨年に引き続き2月の省エネルギー月間に合わせた冬季ライトダウンキャンペーンと6月~7月の夏季ライトダウンキャンペーンに協力しています。今年度も田原市のエコチャレンジ宣言に登録し、事業所での省エネ活動に取り組み、田原市の主催するイベントに参加します。



▲天井明り取り



▲空調タイマー

●田原臨海企業交通安全協会合同で春・夏・秋・冬の交通安全県民運動期間に工場東側の産業道路において労使一体で交通安全立哨活動に参加しています。また、この期間中工場横の通勤路でも毎日各部署交替で交通安全立哨と周辺道路の清掃を行いました。



▲交通安全立哨

環境負荷情報

電気使用量	18,443 千kWh	水資源投入量	109,083 t	化学物質大気排出量	3.416 t
ガス使用量	2 千m ³	CO ₂ 排出量	9,570 t-CO ₂	廃棄物排出量	77.8 t

グループ会社



株式会社フタバ九州

住所：福岡県直方市大字中泉1181番地6 (本社・直方工場)
敷地面積：136,973m² (本社、直方工場、伊万里工場計)
建物面積：45,378m² (本社、直方工場、伊万里工場計)

生産品目：マフラー、排気熱回収器、ピラー、カウル、インパネ、インレットパイプ、ベダル、ビーム



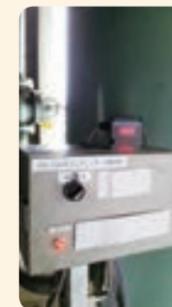
代表取締役社長
三宮 嗣巳

当社は、2016年4月にフタバ九州本社を佐賀県伊万里市から福岡県直方市に移転しました。伊万里工場、直方工場それぞれでISOに対する取り組みは積極的に行っており、引き続き環境に優しい生産工場を目指すことになりました。

せん。ゼロエミッションを目標に、生産ロス・不良ロス・運搬ロスをなくし、資源を大切にすることを常日頃から推進しております。

環境活動・社会貢献活動

●伊万里工場のコンプレッサースイッチの入り切りを手動で行っていたことから切忘れ等がおきていました。自動制御することにより切忘れがなくなり、1万kwほど削減できるようになりました。



▲コンプレッサーの自動制御



▲エアコンの集中管理

●今まで直方の工場内の空調スイッチが複数あり其々の部署にて管理しておりましたが、その管理を集中管理することで気温や熱中症指数等を勘案し集中的に管理することにより切忘れ等がなくなり、月3千kw程度の電力量削減と工場内の快適さも増しました。

環境負荷情報

電気使用量	14,933 千kWh	水資源投入量	20,393 t
ガス使用量	6.1 千m ³	廃棄物排出量	119.2 t

工場・グループ会社の取り組み



株式会社アピックス

住所：愛知県額田郡幸田町 大字須美字南山2-1 (本社、工場)
敷地面積：49,699m² (本社、幸田工場、安城工場計)
建物面積：17,681m² (本社、幸田工場、安城工場計)

生産品目：自動車部品、金型製作、プレス加工並びに組付



代表取締役社長 種村 慎吾

当社の本社・幸田工場は名豊道路（国道23号線）幸田須美ICに隣接する工業団地に立地しており、多くの緑に恵まれた環境の中で事業活動を行っています。
私たちは、この地域環境を守るとともに、地域社会に貢献

できる活動を実施することのみならず、地元行事にも積極的に参加し、地域の皆さんとのコミュニケーション向上に努めています。

環境活動・社会貢献活動

●当社では、毎年、工業団地を囲む町道および幸田須美IC付近の道路清掃や除草作業など、環境美化活動、交通安全活動に取り組んでいます。また、当社の目前を通る名豊道路は地域高規格道路であり、今後「ものづくり愛知の生命線」としてその重要度はますます高くなることが期待されています。そこで当社は、近隣大手企業や幸田町、西尾市の首長らとともに社会基盤整備の陳情活動を行っています。名豊道路の早期全線開通並びに4車線化は、利便性向上や物流費低減などの経済効果だけでなく、国道1号線や他の幹線道路の渋滞緩和により、CO₂の削減、燃費向上、安全安心の確保等、様々な効果が見込まれます。当社では今後も、こうした行政や近隣大手企業と一致協力した社会貢献活動を継続して参ります。



▲環境美化活動

環境負荷情報

電気使用量	2,240 千kWh	水資源投入量	4,265 t
ガス使用量	1.5 千m ³	廃棄物排出量	95.85 t



株式会社フタバ平泉

住所：岩手県西磐井郡平泉町 平泉字上徳沢65 (本社、工場)
敷地面積：77,244m²
建物面積：17,148m²

生産品目：マフラーおよびボデー部品



代表取締役社長 後藤 功

当社の生産活動は、金属材料プレス加工、溶接組立、運搬・納入の3つに分かれます。生産活動の中で、環境に対する改善を提案し確実にやり遂げることに、従業員一人ひと

りの環境への意識を高め、行政および地域住民と連携し、歴史的な遺跡保存と調和した美しい自然景観の保全に取り組んでいます。

環境活動・社会貢献活動

●岩手県は県土の約75%が森林であり、当社は緑豊かな自然に囲まれた平泉町に設立しております。以前より当社は敷地内に四季折々の木々を植樹しておりましたが、今年度は桜（ソメイヨシノ・ヤマヒバザクラ）を計11本植樹しました。「美しい自然のまちづくり」を目指す平泉町とともに、自然環境と景観の保全に努め、当社従業員および地域住民が暮らしやすい社会に貢献する取り組みを進めております。



▲桜の植樹

環境負荷情報

電気使用量	4,735 千kWh	水資源投入量	2,552 t
ガス使用量	1.7 千m ³	廃棄物排出量	47.81 t

お客様との関わり



私たちは、最先端技術の研究と開発に努め、製品・サービスをお客様に満足していただける品質・コストで全世界に提供します。

品質担当役員のメッセージ



品質保証責任者
品質保証本部本部長
黒野 徳義

品質改善活動にゴールはありません

当社の経営理念にある「お客様に信頼される会社」である為に、『よい品質』を届けることは、私達にとって絶対達成しなければならない使命です。

2016年度は、品質問題を発生させない品質保証体制の更なる改善に取り組むと共に、品質で信頼される会社の証として、ISO/TS16949認証の全社取得に取り組んでいます。全社員が一丸となって強固な品質マネジメントシステムを構築することにより、「お客様に信頼され、なくてはならない会社」を目指していきます。

品質方針

2016年度の品質方針は、

- ①重要品質問題を発生させない品質保証の徹底
- ②ISO/TS16949の国内工場認証取得
- ③設計、試作、生技、製造スルーでの生準品質作りこみ活動のレベル向上
- ④徹底した真因分析に基づく継続的な改善活動の実施

としています。

全機能一体となって品質保証度の向上に取り組み、「品質で信頼される会社」を目指します。



品質向上活動

フタバグループ全体の品質レベル向上のため、「品質機能会議」「QA点検」「品質改善活動報告会」などを行っています。

品質機能会議

各部署の品質向上への取組みをトップに報告する月例会で、国内全工場が参加し、フタバの品質に対する方向性を迅速に決定すると共に、会社全体の意思統一を図っています。

QA点検

品質担当執行役員が各工場に出向いて品質保証体制の総点検を実施し、指導を行います。年2回の点検を通して改善を行い、重要品質問題の未然防止に向け、体制作りと品質レベルの向上を目指しています。

品質改善活動報告会

品質担当執行役員が各工場の製造現場に出向いて品質改善活動状況の確認・指導を行ないます。「3ヶ月毎の品質改善サイクル」「工程内不良低減活動」の確認を通し、トップの思いと方針を直接展開することによって、品質向上に対する意識を高めています。



▲品質改善活動報告会

グローバル展開

フタバの品質向上活動を国内・海外の各子会社にも展開し、毎月TV会議等で活動内容を確認しながら、グループ全体の品質レベル向上を目指しています。

株主・投資家との関わり



ディスクロージャーポリシーを定め、株主・投資家の皆様に対し、適時、正確かつ公平な情報提供に努めます。

情報開示方針とIR活動

当社では、投資判断に影響を与える決定事項、発生事実、決算に関する情報等が発生した場合の重要情報の開示については、金融商品取引法等の諸法令ならびに、東京証券取引所の定める規則に従ってディスクロージャーを行っています。

また、これらに該当しない場合でも、投資家の皆様の投資判断に影響を与えられる情報や当社を理解していただくために有用と考えられる情報については、当社独自の判断により自主的に開示していきます。

株主様とのコミュニケーション

株主様とのコミュニケーションを重要と考え、定時株主総会は、交通の利便性を最優先させた会場で開催しております。

また、ものづくりフェアなどに積極的に参加し、当社の取り組みについて株主様にご理解の場を設けています。



▲第102回定時株主総会

「人とくるまのテクノロジー展2016横浜」への出展

2016年5月25日（水）から5月27日（金）まで開催された「人とくるまのテクノロジー展2016横浜」に出展いたしました。今回の展示会には、538社が出展し、3日間で87,000名を超える来場者がありました。

当社の展示ブースでは自動車型のワイヤーフレームを用いて、主力製品である排気系部品やボデー骨格部品等の自動車部品を一般来場者の方にも分かり易く展示しました。安全・クリーンで快適な自動車づくりに貢献する、フタバの「燃費向上」「軽量化」製品を多くの来場者にPRすることができました。



仕入先との関わり



常にグローバルな視点で経営を行い、仕入先とともに成長・発展していきます。

2015年度方針を

- (1) 他部門との連携強化による仕入先の体質強化
- (2) グローバルでフタバNGAに貢献できる調達基盤強化

とし、活動を推進してまいりました。

各仕入先へ災害事例紹介、職場点検を通じて安全啓蒙活動を推進し、安全を最優先する体質づくりを実施してまいりました。また品質保証部門と協働で重点仕入先の品質改善活動指導を行い、仕入先の困りごとの吸い上げ等も実施いたしました。急速な環境変化に対応するため、仕入先との連携を強化する諸施策を展開し、長期的視野にたった相互信頼に基づく共存共栄を目指しております。

調達の基本方針

1 オープンでフェアな最適調達

- ・仕入先選定にあたっては、品質・原価・技術・納期面での期待値を明確にして、その達成成果を正しく評価します。
- ・新規売り込みに対しては、常にオープンにしており品質・原価・技術・納期に加え、経営状況・反社会性・環境取組みなどを総合的に公平に判断します。

2 相互信頼に基づく継続的取引

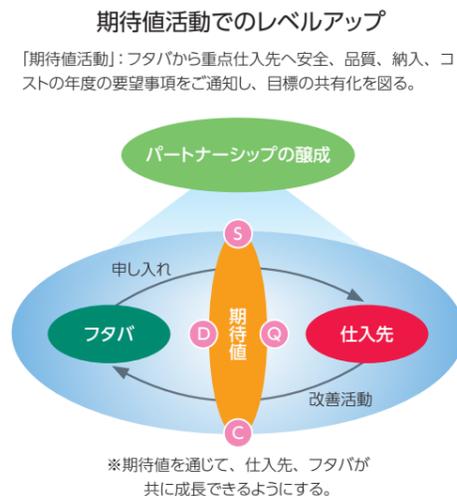
- ・長期的な取引を前提とした相互協力の下、率直な双方向コミュニケーションを図り、相互繁栄を目指します。
- ・将来に向けて、フタバ・仕入先双方が競争力のある原価実力を確保するために、仕入先と協力して中期的な視野に立った原価低減活動に取り組みます。

3 グローバル視点と地域最適調達のベストマッチ

- ・お客様が生産する場所での最適モノづくりに貢献するために、世界各地で競争力のある調達基盤をつくります。
- ・現地仕入先を積極的に活用することで、地域社会に貢献します。

仕入先との信頼関係の構築

『仕入先コミュニケーションルーム』では、①調達本部分方針および資材調達、部品調達、金型・設備調達各部の方針 ②お客様の情報 ③仕入先の品質状況 ④原価改善好事例 ⑤品質事例 ⑥当社受注製品のご紹介 ⑦生産工場情報 ⑧生産技術金型情報 ⑨生産技術設備情報 ⑩海外生産拠点情報 ⑪当社へのご意見箱など、当社より仕入先に向けて、また、仕入先相互のコミュニケーションの場として積極的に様々な情報を発信しています。また、フタバから重点仕入先へ安全、品質、納入、コストの年度の要望事項をご通知し、目標の共有化を図る期待値活動を展開しております。この活動によりフタバと仕入先が共通の方向で切磋琢磨し共に成長するパートナーシップを醸成してまいります。



グリーン調達など

当社が製造・販売する製品等を構成する調達品について、当社と共に環境保全活動に取り組み、環境管理体制の構築と環境負荷低減活動を積極的に推進する仕入先から優先に調達できるよう取り組みを行っております。

当社の環境方針をもとに、仕入先に対して、環境自主活

動の推進として ①法令の遵守 ②環境マネジメントシステムの構築 ③環境負荷低減活動の推進（物流に関わるCO₂排出量の低減、梱包・包装資材の低減、環境パフォーマンスの向上）をお願いし、グリーン調達の実現に向け取り組んでおります。

従業員との関わり

従業員の人格、個性を尊重し、安全で働きやすい環境を確保するとともに従業員のゆとりと豊かさの実現に努めます。

人事担当役員のメッセージ



総務・人事部長
藤井 孝司

地域社会から広く支持され、愛される会社に

当社の経営理念には「地域社会から広く支持され愛される会社」とあります。この「地域社会から広く支持され愛される会社」の実現の為に「地域社会と共に働く」意識を持ち、互いに尊重しあうことが必要です。そのために当社では地域貢献活動や行事に積極的に参加し、従業員一人ひとりが地域の一員であることを常に高いレベルで意識を持てるように各種の従業員教育と、職場づくりに取り組んでいます。

安全第一の職場づくり

安全安心な職場づくりを目的として、働く者一人ひとりが充実した日々を送れるように昨年度の成果と反省を踏まえた下記項目を主として活動しております。

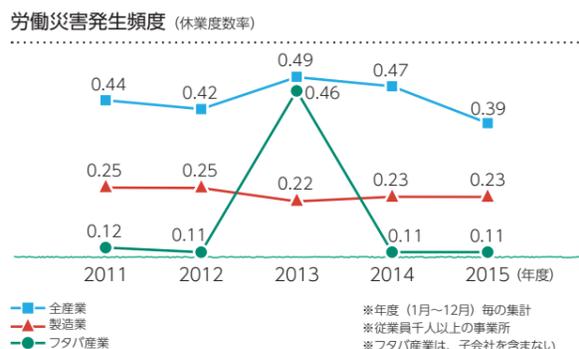
昨年度の活動を継続する活動「A」と、昨年の結果に対する改善活動「B」を主として活動しています。

【A 労働災害発生の未然防止活動】

- ① 重大災害発生の防止活動を実施
- ② 作業者の知識、意識改善活動として『安全心得ハンドブック』を全労働者へ配布して『28（フタバ）対話活動』を通して深化
- ③ 『ポケ手無し活動を通じて』転倒による災害防止活動を実施

【B 健康増進活動】

- ① メタボ改善を目的とした、全員参加型の「健康増進キャンペーン」を実施
- ② 受動喫煙防止と喫煙者削減を狙った、卒煙キャンペーンを実施
- ③ 熱中症発症「ゼロ」を目的とした、作業環境改善、熱中症グッズの使用そして『28（フタバ）対話活動』を通じた、正しい知識による正しい対策活動を実施



人材育成

ものづくりのプロを養成

ものづくりに強い人づくり、職場づくりや、固有技能に卓越した匠の育成を目指し、2011年にものづくり研修センターを開設しました。

安全や品質に関する座学での集合教育や、体感コーナー

での体感教育、コア技術となるプレス、溶接に関する特別教育などの資格取得、各種技能競技会などを実施し、人材育成に努めています。

能力開発教育の実施

階層別教育

職種、職位で求められる知識・能力の向上に向け、新入社員研修をはじめとし、問題解決研修、マネジメント研修、経営幹部育成研修など、新入社員から幹部社員まで各階層に応じた研修を実施しています。



▲階層別教育（新入社員教育）

機能別教育

グローバル人材育成を主眼とした語学選抜研修や異文化研修、ものづくりの基礎となるTPS教育や品質教育など、各機能に応じた専門性を重視した教育を実施しています。



▲機能別教育（プレス安全教育）

職場別教育

各職場における現地現物でのOJT（職場内訓練）の推進および職場内教育を実施しています。



▲生産現場でのOJT教育

多様な人材の活用

採用

「問題解決力」、「行動力」、「チームワーク力」、「学び続ける力」を持ち、グローバルに活躍できる人材の採用を目指しています。

障がい者雇用

障がい者の自立と社会参加を支援するため、積極的な雇用に取り組んでいます。2015年度の雇用率は2.14%となっており、法定雇用率を上回る雇用率に達しました。今後も障がい者雇用の拡充に努めていきます。

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
社員数	3,166人	3,205人	3,211人	3,249人	3,300人
(内 女性社員数)	278人	292人	286人	286人	295人
外国人社員数	14人	18人	19人	17人	17人
再雇用者数	75人	78人	87人	86人	86人
障がい者雇用率	1.82%	1.84%	2.29%	2.37%	2.14%

働きやすい職場づくり

年次有給休暇の取得推進

仕事と休暇のメリハリをもつことが個人の力を最大限発揮できるという考えから、当社では、労使で年間15日の年次有給休暇の取得推進に取り組んでいます。

また、社員が心身をリフレッシュし、新たな気持ちで業務

に取り組めるよう、毎年1回、3日連続で年次有給休暇を取得できる制度や、永年の勤続の節目に5日連続で年次有給休暇を取得できる制度を設け、労使で取得状況を確認し合うことで取得推進に努めています。

育児支援制度の充実

従業員が育児や介護と仕事を両立して働き続けやすい環境づくりに努めています。2012年4月1日からは、育児短時間勤務制度の利用対象となる子の年齢を「3歳」から「小学校4年生を修了するまで」に拡充したほか、始終業時間を30分単位で個別に選択可能にするなど、育児をしながら働く社員が、柔軟な働き方ができるように積極的に取り組んでいます。

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
育児休職者数	31人	34人	43人	46人	43人
育児休職後復帰率	88.9%	94.1%	95.3%	100.0%	100.0%
育児短時間勤務取得者数	5人	21人	20人	27人	32人

地域社会との関わり

地域の皆様と、信頼の絆を築きたいとの思いのもと、地域社会との積極的なコミュニケーションをはかりつつ、様々なご意見・ご指摘に応えることで、社会貢献活動をステップアップしたいと考えます。

交通安全への取り組み 豊田市内にて3,000人の 一斉交通安全立哨に参加

2015年9月24日(木)、当社は豊田市内の国道248号線沿いで行われた一斉交通安全立哨に参加しました。

この活動は、例年豊田市内に在籍する企業が一体となって実施している交通安全活動であり、参加者は3,000人を数えます。当社も豊田市内に在籍する工場が参加し交通安全を呼びかけました。



▲交通安全を呼びかける当社従業員のみなさん



▲感謝状

愛知県岡崎警察署より 感謝状を受領

2015年9月30日(水)、当社は岡崎商工会議所にて開催された平成27年交通安全功労者表彰式にて、優良安全運転管理事務所の感謝状を受領しました。これは交通安全の重要性を認識し積極的な安全運転管理を推進したとして表彰されたものです。

岡崎警察署管内の勤務者を対象とした優良自動車運転者表彰では当社から5名が受賞しました。

また、10月15日(木)に豊田市民文化会館にて行われた豊田警察署管内の勤務者を対象とした優良自動車運転者表彰では、当社緑工場から3名が受賞しました。

加害事故撲滅に向けて 交通安全の「誓い」を提出

2015年12月14日(月)、岡崎警察署へ同署管内4工場および子会社2社の従業員2,406名分の「交通安全の誓い」を提出しました。当活動は、年末の交通安全県民運動活動期間に合わせて全工場で開催しており、今年度は国内子会社を含めて4,058名の誓いを各所轄の警察署に提出しました。

また、誓いと同時に募集を行った「交通安全標語」について、岡崎警察署より優秀作品を選出いただきました。

交通安全標語優秀作品

- 最優秀賞 「急ぐほど 事故があなたを追ってくる」
- 優秀賞 「運転時心の余裕を常に持ち、譲ろう! 止まろう! 確認しよう!!」
- 優良賞 「運転は 譲る優しさ ゆとりの心」



▲山内岡崎警察署長に「交通安全の誓い」を提出する藤井上席執行役員

「はぐみん」も飛び入り参加 森づくり活動 「木工工作教室」を開催

2015年11月21日(土)、当社は岡崎市榎山町の森の総合駅にて「木工工作教室」を開催しました。当イベントは、生物多様性保護の取り組みとして推進している「森づくり活動」の冬季企画です。参加した12家族総勢45名は、親子でクリスマスリースづくりを楽しみました。

また、当社の活動が子育て支援にも貢献しているとして、愛知県の子育て支援課より取材もあり、公式マスコットの「はぐみん」が来場するというサプライズもありました。



▲クリスマスリースづくり



▲第8回わくわく省エネ体験教室当社展示ブース

省エネの啓蒙活動を推進 第8回わくわく省エネ 体験教室へ出展

2015年12月20日(日)、当社は岡崎市中央図書館交流プラザ「りぶら」にて開催された第8回わくわく省エネ体験教室に出展しました。

当イベントは岡崎市地球温暖化防止隊が地域の小・中学生を対象に省エネや地球温暖化防止活動などへ意識啓蒙を図ることを目的に、今回で8回目の開催となります。

当社は、環境貢献製品や社会貢献活動に関するパネルを展示し、来場者にPRを行いました。

地域の方の声

「ホテル舞う北野学区」 北野ホテルの会

5月末、今年も北野町山下公園脇の水路で、ヘイケボタルが舞い始めました。昨年に続いての快挙で、会員が丹精込めて飼育したホテルの幼虫を放流して飛び立ちました。

北野ホテルの会の発足は、平成24年4月のことです。それから5年目、何とか自分たちの力でホテルを育てるという念願が叶ってきたところであります。これも会員として登録いただいている地域の皆さん、地元総代会、そして、御社を始めとした協賛各社・事業所のご支援のお陰と深く感謝を申し上げます。誠に有難うございます。多くの地域住民の方々、各団体の皆様方の環境保全に対する意識の高いことを誇りに思います。こうした活動は岡崎市の目の留まるところとなり、平成27年2月に市役所環境部から「市民環境目標認定」という栄誉をいただいています。

今後も地道な活動を継続して、何年か先には、「ヘイケボタルが自然に飛び交う北野」の環境を夢見ていきたいと考えています。御社の環境活動、社会貢献活動を始めた関係各位のお力添えにご期待申し上げます。



▲北野ホテルの会の皆様